

## 12月議会 一般質問 (菅井 巖議員)

# 国連「家族農業の10年」農家への支援は

### 農林水産部長「園芸作物など付加価値の高い農業へ市独自支援も」

6日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の菅井巖議員は①農山村政策、②大山公園整備・維持管理について、市当局を質しました。



## 家族農業・兼業は圧倒的多数

問 国連は来年からの10年間を「家族農業の10年」と定めた。

世界的流れでも近代化・効率化・大規模化が、農業や化学肥料の大量使用、化石燃料や地下水資源の枯渇、温暖化を招いている。

その対策が圧倒的多数の小規模、家族経営の農家だ。

本市も、家族農業・兼業が圧倒的多数で、ユネスコ食文化都市の土台を支えるのがその持続的な振興だ。

「家族農業の10年」の実践として、集落機能を維持する支援に向けた見解はどうか。農林水産部長 本市の家族経営体は3892で、全体の約97%を占める。

大多数を占める小規模家族経営体は、農村集落のコミュニティや生産基盤維持で欠かせない。

必要な収入が得られ、農村集落の機能維持、農地や水路等の保全を図る事が、農業振興を図る上で大切な視点の一つと考える。

小規模農家が農業を継続してゆくためには、園芸作物の導入や産直向けの生産など、付加価値の高い農業への支援も重要で、生産に取組みやすくするための市独自支援も検討したい。

問 現場の農業者の声を代弁する農業委員会として、家族農業の10年や集落農業維持についての見解はどうか。農業委員会会長 家族経営を主体とした中小規模農家も重要な位置づけと認識している。

特に中山間地域では規模拡大が難しい条件下で、小規模農家も含まれる。

## 「地域みがき士」へのサポートは

問 全国町村会による「農村価値創生と観光・交流に関する研究会」の報告書で、「関りの場づくりと地域

めた多様な経営体が、意欲を持って農業に取組める環境が必要だ。市が進める小規模農家支援、親元就農支援など関係機関としての役割を果たしたい。

問 イノシシによる田畑などの被害を未然に防ぐ支援策や、被害農家の営農支援は。農林水産部長 環境整備として、餌となる野菜や果実などを農地に放棄しない、寝床や休息場所となる藪を農地周辺から無くして近づけないことだ。

侵入防止の高い電気柵や、金属柵等の設置を行う。電気柵は設置費用の助成を行っており、本年度までに対応した設置距離は約45kmだ。

捕獲の経験者が少なく、技術の習得や向上を図る必要があり、わなによる捕獲術の研修会を開催し42名が参加した。

来年度は、県が主体となり、広域に一斉捕獲事業を実施する。

みがき士の活躍」について提言がある。

地域独自の、日本古来の伝統的な技能や芸を有し、その伝承や

継承に努め、地域づく

との交流が信頼に結びつくことだ。

その魅力増進、情報発信に貢献している人々を「地域みがき士」と総称し、その方々の活動を支援し応援する

来訪者との関わりの場づくりとして、空き家を活用した「お試し居住制度」などあれば有効と思うがどうか。

「サポート制度」について、本市ではどうか。企画部次長 市の「卓越技能者表彰」や「森のソムリエ」、「鶴岡ふろどガイド」、県の「庄内浜文化伝道師」、山大農学部「山形在来作物案内人」や、様々な取り組みを支えるサポート制度もある。

企画部次長 空き家の状態にもよるが、改修に係る初期コストや、宿泊の場合には旅館業法等各種法令がハードルとなっている。

現在ある制度を土台として、運用方法や人材サポートのあり方など総合的に検討する必要がある。

また、居住期間の設定も最長6カ月の月単位としており、短期滞在のニーズに応える期間の設定、関わり場のづくりという視点も踏まえた制度運用方法を研究したい。

## 大山公園南側斜面の整備は

問 大山公園南側斜面の整備については、樹木伐採後の残材運び出しなど一定の処理は終えている。

問 今後の整備計画と整備構想はどうか。建設部長 当該の一部地権者から、市への寄付の申し出があり、市としても公園の景観確保のために、公園と一体的な管理が必要との判断から寄付を受け

ることにし、現在も所有権移転の手続きを進

めている。所有権が移行途中であり、まず土地問題の解決が第一と考え、現時点では具体的な整備構想に至っていないが、今後ツツジ等低木の植栽などの計画を検討したい。

今後整備に向けた計画策定には、指定管理者である大山自治会や大山公園再生協議会など、関係者と十分協議を進めながら取り組んでいきたい。

今後整備に向けた計画策定には、指定管理者である大山自治会や大山公園再生協議会など、関係者と十分協議を進めながら取り組んでいきたい。

# 小中学校教職員の長時間労働、どう対処

## 教育長「超過勤務の多い職員と面接、超過減するよう指導」

6日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の山田守議員は①学童保育の指導員配置、②小中学校教職員の労働実態について、市当局の対応を質しました。



### 学童保育指導員の待遇改善を

質的な人手不足が課題になっている。

問 鶴岡市の共働き、一人親家庭の増加のもと、学童保育の必要性は高まっている。

厚労省では、指導員の認定資格研修の実施なども行っている。

鶴岡市の現状は、指導員の欠員が生じたり、募集をかけてもなかなか集まらない。

学童保育指導員の配置について、市の現状認識はどうか。

健康福祉部長 1支援単位の職員を2名以上配置することが基準となっているが、現場では部屋の複数に分かれたり、配慮が必要な児童がいることなどから、3〜4名の指導員の配置がほとんどだ。

現在まで認定資格終了者が90人おり、体制づくりからも多くの職員に認定資格研修を受講することが重要と考え、計画的な受講を働きかけている。

また、各クラブでは、指導員の募集を行っても、なかなか応募がない、必要な人数を確保することが難しいなどの話も聞いており、実

ての対応はどうか。

健康福祉部長 指導員の労働環境は、平日は12時から夜7時頃までの7時間であるものの、土曜日や夏休みなどの長期休暇は、朝7時から夜7時までの12時間近くとなっている。

長期休暇中は児童数が大幅に増加するため指導員の負担が大きくなることなど、労働の量、質ともに大変な面があると認識している。

労働環境改善のために、処遇改善に取り組まれていないクラブへの要請や、国に対し処遇改善事業のさらなる充実を要望していく。

### 異常な労働環境で教員の自律性奪われる

問 いま、教職員の長時間労働が社会問題になっている。

国の2016年の小中学校を対象にした「教員勤務実態調査」によれば、校長や教頭など全ての職種で勤務時間が増えており、「教員の多忙化」が進んでいることが改めて浮き彫りとなった。

鶴岡市での小中学校の長時間労働の実態と、労働環境の問題をどのように把握しているか。

教育長 教職員の長時間労働については改善が急務であり、喫緊の課題であると認識している。

列表に出勤・退勤時刻を記録し、管理職がすべての教職員の勤務実態を把握。校長は超過勤務時間の多い職員に対して必ず面接を行い、超過勤務を極力減らすように指導している。

問 先日、前文科省事務次官前川喜平氏は講演会で、「自分で自主的に生きていく力を身につけてもらうためには、やはりそれを指導する教師自身が主体性を持っていなければできない」として、「教員の独立自尊の精神を先生に持ってもらうたい」と述べた。

しかし、いま教職員は異常な労働環境におかれ、自律性も奪われており、子どもの実情や保護者の願いに応じた、柔軟で人間味のある教育が難しくなっているのではないかと。

教育委員会等は時間把握と健康管理の責任ある体制をとるべきと考えるが、どのような対応が必要と考えるか。

教育長 今後、学校に対する人的な支援の充

実や、さらなる「働き方改革」の推進に取り組んでいく。

各校の具体的な取り組みとして、緊急時以外の留守番電話対応や、朝の職員打合せの簡略化、行事や会議の精選、夏季休業及びびん末年始休業における閉庁日の増設、定時退庁日を週2回設定など実施している。

PTA会員も減っていることから、専門部を減らし、広報廃刊など検討している学校もあり、可能なところから積極的に業務改善を進めている。

教職員の健康管理については、定期健康診断等を受診したのち、精密検査受診の勧奨について引き続き指導している。

本年度から実施している「ストレスチェック」は、教職員がメンタルヘルス不調となることを未然に防止するために、自分自身を振り返るきっかけとして、場合によっては医療機関への受診・相談など、精神的負担の軽減を目的としている。

#### 土木課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 12月13日入札分
  - 平成30年災第5959号市道小波渡運動広場線道路災害復旧工事 (小波渡地内) (入札5業者うち2業者辞退) (株)国善工業 (くじ落札) 2,100,000円 (2,121,000円) 工期~31/3/20 (落札率99.01%)
  - 鶴岡市先端研究産業支援センター通路整備工事中止

#### 教育委員会社会教育課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 12月13日入札分
  - 市櫛引生涯学習センターキュービクル更新工事中調

#### 下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 12月10日入札分
  - 市公共下水道事業 汚水4014-1号新設工事 (加茂地内) (入札5業者) 東洋空調工業(株) 5,680,000円 (5,804,000円) 工期~31/3/15 (落札率97.86%)